



〒108-0071  
港区白金台 3-7-1  
(3443)  
5666



<http://shirokanedai-kg.minato-ky.ed.jp/>  
「オリンピック・パラリンピック」  
やり投げ



重量挙げ



ポッチャ



森を風のように走る

園長 新井 智子

10月は、子どもたちの運動会(わくわく3デイズ)があります。今年は、オリンピックやパラリンピックにちなんだ取り組みをし、「森のオリンピック」として開催します。子どもたちは、毎日いろいろな運動遊びを楽しみ、少しずつ「森のオリンピック」へと気持ちを高め、活動を進めています。オリパラの再現遊びを存分に楽しんだので、それぞれの学年でその要素を取り入れるかもしれません。子どもたちは、気分はオリンピック選手です。学年ごとに「ホップデイ」「ステップデイ」「ジャンプデイ」と名付け3日間開催、5歳児が司会や体操の係を受け持ち、3日間をつなぎ、幼稚園として一体感をもたせます。5歳児が最上学年として力を発揮し活躍する行事です。

さて、本園の園庭の平らな部分は直線で20m走もできないくらいの狭い面積です。しかし、奥に広がった起伏のある森は、アップダウンを楽しみ、風のように駆け抜ける十分な運動ができる場です。クロスカントリーのようなコースを活かして、年長が取り組むリレーは、本園の伝統として毎年園全体で盛り上がります。コースの整地を例年行うのですが、子どもたちは起伏ある場を普段から、むしろ好んで使い楽しそうな運動遊びを繰り返しています。でこぼこの地面を足の裏でしっかりと掴むようなイメージでとらえて走り、ぬかるみの滑りに注意を払いながら、体を巧みに使って樹々の間を軽やかにすり抜けます。子どもたちは、大人のように「走力をあげるトレーニング」はしません。ある時は鬼ごっこ、ある時は虫捕り、またある時はソリ遊びだったりします。汗だくになって動き、その遊びを存分に楽しむことで、自然に体力や巧緻性や俊敏性などの基礎的な運動能力が培われていきます。

また、子どもたちの体力増進の要は歩くことです。幼稚園の行き帰りやたくさん遊ぶ中で自然に歩数を重ねていくことが望まれます。「森のオリンピック」は心情面や協同性の育ちなども備えながら、運動の喜びや体力増進のいい機会になります。楽しくたくましく、日々活動を進めてまいります。

< 10月の指導のねらい >

3歳児

- 自分の思いを教師や友達に言葉や動きで表しながら、好きな遊びを楽しむ。
- 教師や友達と一緒に伸び伸びと体を動かす楽しさや心地よさを味わう。

4歳児

- 友達と同じものや場をつくったり思いを伝え合ったりしながら遊ぶことを楽しむ。
- いろいろな運動遊びに取り組み、自分なりに力を出す喜びや友達と動きを合わせる楽しさを味わう。
- 秋の自然や栽培物に関心を持ち、変化に気付いたり遊びに取り入れたりする。

5歳児

- 当番や行事への取り組みの中で、仲間の一員としての自覚を持ち、役割を果たしたり自分の力を発揮したりする喜びを感じる。
- 「森のわくわく3デイズ」に向けて、友達と考えを受け止め合い、みんなで一緒にやり遂げた達成感を味わう。
- 季節の移り変わりや栽培物の生長に気付き、自分たちの遊びに取り入れたり、収穫に期待をもったりする。

